平和学習の感想

●戦争は決してしてはいけないものであること

●今の日本は戦争とはかけ離れた生活が送れているけどこの世界のどこかでは今も戦争をしていて日本もいつ戦争に巻き込まれるかわからないけど、みんなで仲良くしているのが一番だと思った。

●後半では第二次世界大戦での太平洋戦争はもちろん、今世界で起きている戦争について学びました。正直これまで世界で起きている戦争のことがニュースで報じられるたびその悲惨さに胸を痛めてはいましたがどこか他人事のような気がしていました。ですがいつ日本に戦争という魔の手が忍び寄ってくるかわからないですし、もしそんなことが起きたとしても私たち日本にはそれから身を守る術があまりにも少ないのです。アメリカが助けてくれるだろうとは思いますが、万が一助けてくれなかった場合私たちはただ相手国に蹂躙されるのみなのです。そんなことを考えれば今日本がどれだけ安全で平和なのかということが分かります。また今世界で起きている戦争が他人事ではないこともわかります。私たちは今ある平穏を噛み締めながらこれまで起きた戦争のこと、そして今起きている世界の戦争について深く考えるべきだと思います。

●三好さんの話を聞いて、ロシアによるウクライナ侵攻が一年半も経っていることを知りました。正直、私たちからすると、あまり関係がないように感じていました。ですが、話を聞いていくうちに、ウクライナの人たちは「いつ、死んでしまうか分からない」状態で生きていて、すごく怖いんだろうなと思いました。また、空襲で一般市民も犠牲なったと聞き、すごく悲しいなと思いました。姫路空襲では、姫路城が残っていることに不思議に思いました。あんなに大きかったら、目立って落とされるのじゃないかと思ったからです。落とされなかったのは、L 字のフックに黒いネットを引っかけ、覆いをしたからだそうです。天守付近に投下された焼夷弾が不発になったことに、すごい偶然だなと思いました。偶然が重なったからこそ、今に残るきれいな姫路城があるのではないかと思います。太平洋戦争と兵庫県のことが知れてよかったです。ありがとうございました。

●音楽やジブリ作品と結び付けて話していたので、聞いていて学びやすかった。
途中で松田聖子がパワーポイントで、出てきたときは驚いたが、そのようにユーモアがあっておもしろかった。新聞に何日のを引用したか書かれているのもとても分かりやすかった。

●今までは今起きているウクライナ戦争もどこか遠いところでの他人事のように感じていたが今回の話で自分事のように考えるという事の大切さを感じた。まだ世界は平和ではなくて、世界中で多くの人が危険な状態だと改めて感じた。

●昔あった戦争を今後に語り継ぐ必要があると学んだ。
こんな空襲があったんだというものも今回の授業で学んだし、それが今後どうつながっていくのかも学べた。

●戦争の体験を若い人に伝えて、二度と戦争を起こさないようにすることが大切だということが分かりました。今でもウクライナとロシアが戦争をしているので、自分のこととしてとらえることが大切なのだなと思いました。

●戦争や原子爆弾のことを知って、学んだことを忘れないようにしたいと思った。また、今もおこっている戦争などのことにも関心を持って、将来発信出来たらいいと思った。世界中の人と手を取り合って、助け合う世の中になったらいいなと思ったし、そのために自分も常に意識しておきたいと思った。

●平和について示しているものは意外と身近にあった。今回紹介されたものでいうとジブリなどの作品です。実際にも宮崎駿は「風の谷のナウシカ」や「天空の城ラピュタ」など多くがこの世の中のことや生き方を伝えるために作ったと語っていた。自分たちこういった身近なものから平和について考えていきたい。

●ぐちゃぐちゃにされても、今後の日本のために立て直そうと頑張って今の状況があってすごいなと思う。

●戦争が起きないようにするためには、やっぱり伝えていくのが大切なんだなと思った
火垂るの墓など戦争に関わる本やアニメ、ドラマをもっと見ていきたいなと思った

●太平洋戦争と兵庫の関わりは島田知事だけではなく、神戸空襲や姫路空襲など、都市部への空襲もあったということが分かった。

●ロシアのウクライナ侵攻から一年半ほどが経過した現在、第三次世界大戦が発生する可能性もあり、人類の滅亡を防ぐために自分には何ができるかを考えることが必要だと思った。

●何度にも渡って日本のあちこちに爆撃があり４人に１人の数の犠牲者が出ていて、中には名前も分かっていない人もいて未だに遺骨が見つかることもあって「戦争」は言葉に言い表せないほど酷い行為だと思いました。これからの世界では他人の命を重んじることが出来たら世界平和に何歩か近づけると思いました。

●戦争は悲しむ人を生み出すだけの全体してはいけないことだと実感した。
いつの時代でも戦争が起こしてしまっている現実があるのだということも実感した。

●東京大空襲のことをあまり知らなかったので心に残りました。

●兵庫などは火炎弾などの空爆でたくさんの人々の命が奪われたと学んだ。

●国内の人々や世界中の人々が喧嘩をせずに協力して行く事が大切ということが分かりました。

●戦争で広島での原爆の死者数万は約１４万人、長崎での原爆の死者数は約７，４万人、東京大空襲での死者数は１０万人以上,神戸大空襲での死者数は７４９１人でとくに東京大空襲や神戸大空襲は他の都市よりひどく爆撃されていて工場や市街地はほぼ焼け野原になっていたこと、ある体験によると空爆がされる前の町は活発でとてもきれいな景色だったが急にラジオがなり空襲の恐れありという音声が流れその後空襲が実際に行われ空襲は長く続いて夜が明けて防空壕から出てみるとで活発だった町やきれいな景色が焼け野原になっていた。という体験や死者数を見たりして戦争は人の命を奪ったり物を破壊したりするということを学んだ。
この平和学習を通して戦争の残酷さや悲惨さを伝えていこうと思った

●戦争の映画は戦争の恐ろしさが伝わるのでこれからも戦争はいけないということを戦争を知らない人達に語り継いでいきたいです

●第２次世界大戦は、日本がアメリカの真珠湾に攻撃したことから始まったことを改めて思い知らされた。戦争について改めて詳しく知ったので修学旅行で平和学習をするときは、金曜日学んだことを思い出しながらもう一度学んでいきたい。あと、命の大切さや今日本が戦争がなく平和だということを知ってをき、今生きている瞬間を大切にしていきたい。

●兵庫県と戦争のかかわりは神戸大空襲ぐらいしか知らなかったので地域の戦争について色々知れたので良かった。また、これを次の世代の子たちに伝え、その様な悲惨なことが二度と起こらないようにしないといけないと思った。

●もう二度と戦争をしない世の中にしたいと思いました。

●境界を越えても友達をつくり、世界中どの国も仲良くしたい

●兵庫県は、空襲などで被害を受けたが、その中で人々がどう生活してきたのか伝えていくことが大切だと分かった。

●平和記念公園で大統領たちが今では集まってやっていたけれど、昔は敵同士だったのが分かった。

●まだまだ私たちの知らない国などで戦争を起こしているので何か今私たちにできることはないからと少し考えてみようと思います。

●後半の人の話は画像や音声を使って話をされていたので分かりやすかった

●神戸では空襲などが主な被害で、亡くなった人も多かったが沖縄戦のほうが多いことは初めて学んだ。ウクライナとロシアでの戦争でも似たようなことが起きていると思うので、この戦争に終止符を打てるように、なにかできること考えたい。

●昔あった事だけで考えるのではなく、今の私たちが今後平和についてどう考えるのかが大切だと築きました。

●これからも日本は平和でい続けれるかなと思った

●写真などを実際のちゃんと見たことがないので話だけじゃなくて実際のものを写真で見れたので良かったです

●広島、長崎の原爆の話を聞いて、話を聞いただけですごく悲しいきもちになりました。なのでもうこんなことが起こらないように自分より後の世代につなげたいです。

●日本に住んでいる私たちの中では戦争というものはもう今後もないと思いますが、私たちの周りではロシアとウクライナ戦争の進行が止まらず、苦しんでいる人、当たり前の生活が送れなくなった方々が同じ地球上にいます。そんな中戦争もない日本国民は本当に幸せで平和に暮らせていることは本当にありがたいことだとふかくかんじました。

●沖縄と兵庫県がつながっていたことを、僕は知らなくて戦時中に深いつながりがあったことを学ぶことができた。空襲や地上戦で多くの人の命がなくなったことを知りおそろしいとかんじました。

●過去の日本は良いことばかりではなく世界でも、悲惨なことになっていたことを今まで以上に知ることができた。過去のことを心に置きなが今生きている私たちは生きていかないといけないと思った。

●戦争のあとは物凄くその悲惨なことしないようにしている

●今ウクライナ戦争で同じようなことが起きているから二度と戦争など起きないように世界中に戦争のひどさを広めるべき後思いました。

●日本だけでなく世界中が平和になるには戦争を起こさないことが１番いいと思いました。
多くのものを失う戦争を引き起こさないためにも他国とのかかわりがすごく大切だなと思いました。

●広島の原爆で約１４万人ほどの人が亡くなってしまったと聞いて、でもその中ではだれの子供か分からなかったり、何で亡くなってしまったのもと聞いてだれの子供か分からなかったらその子の親も分からないし、お墓を建てる時も名前を彫ることができないのでとてもつらいなと思いました。

●命の大切さがわかった

●太平洋戦争はたくさんの命を奪っていて、二度と起こってはいけない戦争だけど絶対に忘れてはいけない戦争でもあるということが分かりました。約八十年前のことで自分たちは生まれていなくて身近なことではないかもしれないけど、自分達より下の世代の子たちに語り継いでいくことが大事だということが分かりました。

●神戸などの戦争が起きていた時代のことを知らなくて、あまり被害はなかったのかなと勝手に思っていたけどそうではなくて、私たちが住んでいる神戸も多くの場所や人々が空襲の被害を受けていることを知ることができた。こんなにも日本各地で戦争の被害が起きていたことを知って、もう戦争は起きてほしくないなと感じた。

●昔の曲を聞いていると悲しい雰囲気で戦争の酷さを伝えようとしているんだなと思いました

●神戸空襲があったのは知っていたけど、姫路空襲が起こっていたことは兵庫県に住んでいても知らなかったので今回の平和学習で知ることができてよかったと思う。防空壕に入っていても決して安全ではないことや、b29 の恐ろしさをより知ることができた。今回の平和学習で学んだことを私たちが次に伝えていけたらなと思う。

●今、ウクライナとロシアが戦争しているけど毎日のように、人がなくなっています。沖縄戦を学んで、絶対に戦争はあってわならないと思いました。人の命も大切にするということをしっかり記憶に残しておきたいと思います。

●今回の平和学習で戦争はやっても意味がないことがわかりました

●沖縄の戦争は忘れてはいけない歴史の一ページとして考え、これからも語り継いでいかないといけないとないと思う。

●各地で被害があって、兵庫県でも昔こんなことがあったんだなと思いました。

●怖い

●第二次世界大戦後、東西冷戦やキューバ危機などの自分自身はあまり聞きなじみのないような戦争のようなものが行われていることを学んだ。ウクライナ侵攻などの情報を適切に判断し、戦争のない平和な世界にする努力をしていきたいと思った。

●戦争は絶対にしてはいけない

●あまり戦争のことは一部しか知らなかったけどこんかいの平和学習で沖縄戦や太平洋戦争のことについていっぱい知ることができいた。

●映画や本でたくさんの戦争についての話があるんだなと思った。

●戦争はもう二度としてはいけないということが分りました。これからどう生きていくか、どのようにして戦争のことを未来の人たちに伝えていくか考えさせられました。

●日本が当時は悪かったのだと思った

●神戸も空襲されて焼け野原になっていて戦争のやばさをしった。一つの爆弾で何万も死んで怖さもしった

●今この世界が、とても幸せで平和だと思った。昔は、日本のために死ぬことが、誉だったということを知り、あと 100 年生まれるのが早かったら死んでいたんじゃないかと思います。また、火垂るの墓などのジブリにも戦争について知れてすごいと思います。

●戦争で爆弾を使っていたと学びました。

●戦時中の姫路を知ることができた

●じぶりのことをしてた

●戦争についてのいろいろな資料や、曲をきいて全員ではないけれど、勇気を起こして行動をして立ち向かった人もいるんだということを知った。修学旅行のとき平和学習で学んだことふまえ、沖縄に行きたいと思う。

●戦争を知らない人が戦争を語り継ぐしかできなくなる時代がもうすぐそこまで来ていて、自分たちから学びに行く姿勢を持つことが大切だと感じました。同じ人間で同じ地球に住んでいるという当たり前を忘れてしまう人が普通に存在する。なんでなんだろうかと思いました。

●人々に戦争を伝えようとする意志

●自分が住んでいる地域もかつては空爆を受けたりしていた。須磨寺の中に広場があったのは知っていたが、それが須磨出身の島田昭の追悼の広場であるということは知らなかった。

●実体験を交えて話してくださったり年表で、いつ何があったのか詳しく知れた。
そして、戦争のことを伝えていくことが大切だと感じた。

●火垂るの墓が兵庫県の話で兵庫県もよく被害にあっていたことが分かった。

●歴史の授業で何となくは知っていました。でも、習ったことを深堀する内容が多くてそこから始まったんだ。今も続いているんだ。と新たに知る事が多かったです。これは昔、沖縄だけ違う国で島国の一つだったからというのも影響しているのかなと思いました。

●沖縄と広島と長崎で大きな戦争があったけど、須磨も空襲などがあったことがよく分かりました。

●戦争は絶対悪。戦争は繰り返してはいけないということを語り継ぐこと。

●自分の住んでるとこで被害が起きたことがとてもが悲しいと思いました

●いろいろなアーティストの戦争にかかわる音楽などを聴いて、改めて戦争は世界の共通認識になるほどたくさんのものを奪い犠牲にするものだということがわかった。

●これからは戦争のない世界にしていきたいと思いました。

●後半の話では、第二次世界大戦を含めた、近年の世界情勢についての話を聞きました。第二次世界大戦後も世界の様々なところで戦争が起きていると知って、とても印象深かったです。特に先生の話で、「戦争は、いったいなぜ起きるのか。」と、いうようなテーマを受け取りました。これについても、終盤のプレゼンテーションをみて、深く考えさせられました。結局答えは出ませんでしたが、世界が平和になることを願うのなら、まず自分の周りの人と仲良くすることが、その一歩につながるのではないかと思いました。

●沖縄戦では四人に一人がなくなっていて、とても驚きました。
また、防空壕の中で赤ちゃんは泣くからという理不尽な理由で命を落とした人もいたと知り
聞いていて嫌な気持になる部分もありこの赤ちゃんは命を落とす必要がないにと悲しかったです

●戦争では、沖縄だけでなく今自分が住んでいる神戸や、首都の東京までもが大きな被害にあったと分かった。また、もう二度と、同じ過ちを繰り返すことがないようにとジブリなどでも戦争に関する作品があるということが分かった。私は、よく戦争についての本を読んだりすることがあるが、今回の平和学習でないと、知ることのできないようなことをたくさん知ることができた。約一年半がたったのにも関わらず、今もなお続いているロシアによるウクライナ侵攻についても、知ることができた。どうすれば、今後戦争が行われなくなるか、また、今私たちにできることは何かを、本や、今回の平和学習で得た知識などを使って、考えていきたい。

●その時の音楽や戦争の流れ、神戸とのつながりについて学んだ。
戦争についてもっと知りたくなった。

●戦争をもとにした映画や、歌、漫画がたくさんあって私も実際に見てすごく怖かったし悲しくてじっさいにこんなことがあったのがすごく怖くなりました。なにより、味方である日本人にもうらぎられたのがすごく悲しかったです。神戸で起きた戦争の写真を見たとき、今の神戸と全然違ってこんなことになっていたことに驚きました。

●戦争の舞台をテーマにしたジブリが思ったよりあることに驚いた。火垂るの墓の話が終戦後の厳しさを教えてくれる作品だと聞いてまた見てみようと思った。

●今の沖縄は自然にあふれていて伝統的な街で海がとてもきれいな場所だけど昔はずっと銃声が鳴り響いていて海も火であふれていたのかなと思った。
しかしこの戦争は世界にも広がっていて戦争反対の声や戦争の悲しさなどを歌にする人もいたんだとわかった

●改めて日本の戦争、自然災害の歴史を学んで、これまでに沢山大変でいろいろな出来事があったということを実感した。だからこそ、これから起こりうる災害について自分たちが対処していかないといけないなと感じたとともに、今世界で起こっている戦争に対して少しでも力になっていかないと思いました。

●今は家や工場があり人々は平和に暮らしているけれど、その前では戦争が起こっていて家や工場は壊され、人々は常に空腹といった状況だったことを学びました。そしてその今回の学習を終えて今平和なのはたくさんの犠牲を払って獲得した平和なので、その犠牲を忘れずに暮らしたいと思いました。

●神戸大空襲を初めて知り戦争について身近に感じるようになった。今住んでいる地域は昔は戦場だったんだと知り生きていることを大切に思おうと感じた。

●私たちは戦争を経験していないので人から聞くことしか出来ません。ですが今回の平和学習で戦争の恐ろしさを知りました。

●戦争では助けてもらえるはずだった日本軍に見放されてたくさんの人が亡くなって犠牲者を出してまで戦争を続けなければならなかったのかと疑問に思いました。

●まだまだ戦争について知らないことが多いけれど、現在ウクライナ侵攻が行われているので、このことの事実をしっかりと知り、忘れないようにしようと思います。

●後半の平和学習では火垂るの墓や沖縄戦だけではなく、いろいろな被害にあった日本を学べました。その中でも、火垂るの墓について三ノ宮のほうでの被害を知り、あのような小さい子が両親を失い兄弟だけで生きていくということは、自分には絶対にできないだろうし、本当にあってはいけないことだと思いました。

●記者の方の話を聞いて、戦争を知らないを私でも、今回学んだことを伝えられることができるので、もっと戦争について知っていきたいと思いました。

●日本が平和に暮らせたらいいなと思った

●いのちをまもっていても、守られない人たちは絶望しかなかったと思います。

●核兵器や、戦争の怖さ、命の大切さを学ぶことができました。そして、その大変な中でも、戦争を終わらせるために最後まで諦めず戦い続け、自国のために尽くした人々も、強い決意でずっと立ち向かっていたと思うし本当にすごいなと思いました。
今も紛争や冷戦、ウクライナとロシアの戦争、核兵器、難民問題などがたくさん起こってしまっていて、今すぐ１００％平和になれるかと言われると難しいのかもしれないけれど、今まで本当に起こってしまっていたこの悲しい事実を忘れず、いつか本当に皆が安心し暮らせる日々が来てほしいと思います。

●いろいろな歴史をたどることができた。

●戦争で市民も巻き込まれたりすることで人がやろうと思ってしていることだからそんなことを考えない世界にしたらいいと思って

●ウクライナとロシアの戦争で今まで戦争は何百年も前の話で私には関係ないことだと思っていたけど身近なところで人々の殺し合いが始まっていて日本も絶対安全ではないことを知って他人事ではないと感じていた。だから今回の平和学習で日本にある戦争の資料をたくさん見て戦争は本当に恐ろしいものですぐ人の命を奪えることがわかった

●沖縄戦だけじゃなく別の場所も空襲や原爆が落とされたりして死者が多く出たときいて酷い状況だったと知れよかったです。

●東京や神戸、姫路などでは焼夷弾や機銃掃射により莫大な被害を受けたと聞きました。また広島や長崎では原子爆弾が投下され甚大な被害を受けました。私は当時生き残った人がまた立ち直って今の街を作っていることが凄いと思いました。

●命は大切

●自分たちが住んでいるところでもたくさんの戦争があったこと知り、改めて戦争のつらさを感じました

●今ウクライナの人たちが戦争に巻き込まれていてこの平和学習をして今自分に何ができるか考えようと思いました。

●戦争はほんとうにしてはいけないもの。

●資料などを見せてもらいながら話を聞き思ったことは、戦争を起こさないために今私にできることは何かを改めてゆっくり考えてみようと思いました。

●沖縄戦や原爆の被害などについて知った。戦争の被害について深く知ることができた。

●戦争のために命を掛けて戦った人がたくさんいたので戦争は恐ろしいと思ったので平和って大事だなと思った

●１つ１つの歌の思い
亡くなった人々の思い

●平和な世の中を作るためにはどうすればいいのか

●平和であることは、世界で一番大切で幸せなことなんだなと感じました。全世界の戦争がなくなるのは嬉しいけれど、本当に人々が幸せでいれるのか気になりました。